

総領事館からのお知らせ

在レシフェ日本国総領事館(令和元年10月)

1 渡航にあたり

当地は、人口当たりの殺人発生率がブラジル国内で常に上位に位置し、ひったくりや、置き引きはもちろん、拳銃を使用した凶悪犯罪が市内各地で発生しています。
少しでも抵抗すると、強盗犯は発砲しますので、命を最優先にした行動が必要になります。
滞在期間中に被害に遭わないよう、より良い旅行とするためには、事前の情報収集と防犯に関する心構えが必要です。

(1) たびレジの登録

外務省のたびレジに登録すると、滞在先の最新の安全情報や緊急事態発生時の情報等がメールで受け取ることが出来ます。

(たびレジ: <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>)

(2) 海外旅行保険の加入

ブラジルの医療費は非常に高額です。海外旅行保険への加入を推奨します。診察に備え、現金300レアル程度(約8,000円)、クレジットカードの持参をお勧めします。

(3) 黄熱の予防接種

当地では、WHOによる黄熱のリスクがある地域には指定されておきませんが、ブラジルから出国した場合に、イエローカードの提示を求める国や航空会社が中南米地域で特に増えています。予防だけでなく、トラブルを回避する観点からも黄熱ワクチンの接種を推奨します。

2 防犯対策

コパアメリカ開催期間中に、他国のサッカー観戦旅行者が、強盗被害に遭い、怪我を負う、旅券を奪われるといった事件も、ブラジル国内で発生しています。
日本国内のように他人任せの安全は、非常に危険な考えです。「自分の身は自分で守る」を意識し実践してください。

(1) 屋外でのスマホの使用は極力避け、ショッピングセンターやレストラン等の建物内で使用する。また、カメラ使用時も周囲を警戒し、不用意に露出させない。
ブラジルではカメラはもとよりスマホは高級品!

(2) 派手な服装や高価なネックレス・腕時計の着用は控える。当地では、元々東洋人が少ないため、目立たないように意識していても目を引きます。
ターゲットにならない為の工夫が必要!

(3) 宿泊ホテルは、セキュリティーや治安状況を考慮して選定する。
決して金額で選ばない!

(4) 夜間の外出は極力控える。また、外出の際は、複数で行動する。
複数であっても、周囲の警戒は怠らない!

(5) 試合会場、空港やメトロ等でのスリや置き引きには、十分注意する。
貴重品は肌身離さない!

(6) 多額の現金は決して持ち歩かない。
貴重品は分散して所持する!

**強盗に遭遇したら
決して抵抗しない!
金品はゆっくり差し出す!
相手の顔を見ない!**

生命を第一に考えた行動を心掛けてください

3 アレナ・ペルナンブコ(会場)



スタジアム: Arena de Pernambuco

最寄り駅: Cosme e Damiao

<アクセス>

- メトロ下車駅: Cosme e Damiao駅(ここからシャトルバスを利用(13時~20時))。
- タクシーやUber(ウーバー)を利用(流しのタクシーの利用は極力控えて下さい)。
- ※通常であれば空港からスタジアムまでは約50分程ですが、当日は渋滞や交通規制を考慮して下さい。

<留意事項>

- 当地では、犯罪多発地域(貧困地域)が市内各地に点在しています。決して近づかないように注意してください。
- メトロも決して安全ではありません。スリや置き引き等には十分注意してください。

<困ったら、まずは領事館に連絡>

在レシフェ日本国総領事館
住所: R. Padre Carapuceiro, 733 14 andar Ed. Empresarial Center 1, Boa Viagem Recife
電話: +55-81-3207-0190
FAX: +55-81-3465-9140

レシフェ市のメトロ(郊外電車)路線図



スタジアム最寄り駅
ここからシャトルバス
をご利用ください。

空港最寄り駅

レシフェ日本国総領事館
最寄り駅

ここでCamaragibe行き
へお乗り換えください。